

三浦市観光マップ

～歴史編～

奈良時代

切妻造入形横穴古墳

奈良時代の頃、この地方を支配していた豪族のものと伝えられる横穴式の古墳。三浦市指定文化財にも指定！外から覗くと、地層らしきものが確認できました。夏は虫除け必須！



住所：〒238-0102
三浦市南下浦町菊名 149

白山神社

毎年10月23日の夜に「菊名の飴屋踊り」が奉納されます。菊名の飴屋踊りとは、江戸時代の飴売りが客寄せのために街頭で踊ったのが始まり。現在は、神奈川県無形民俗文化財にも指定されています。バス停から、の道順は入り組んでいるため要注意！

平安時代

海南神社 (釜籠弁財天)



住所：〒238-0243
三浦市三崎 4-12-11

約250年前、江戸時代の頃から続くチャッキラコで有名な神社です！三崎港の北側の山手に鎮座する三浦の総鎮守。1192年に源頼朝が祈願成就の記念に植えた銀杏の木は、樹齢800年を超え、とても見ごたえがありました！毎年1月15日には、チャッキラコが行われます！

チャッキラコ

チャッキラコとは、毎年1月15日の小正月に三浦市内で、豊漁・豊作や商売繁盛などの祝福芸として、女性のみで踊られる民俗芸能の一つです。

なんとユネスコの無形文化遺産にも登録されている三浦の伝統芸能なんです！



鎌倉時代

大椿寺

源頼朝が三崎に建てた三御所の一つ「椿の御所」跡に建つお寺。庭内は椿の花に埋もれる程であったそうです。現在は、幼稚園が隣接されていてとても和やかな雰囲気なんです♪



住所：〒238-0233 三浦市向ヶ崎 11-1

室町時代

慈雲寺 (白浜毘沙門天)

三浦七福神の一つである白浜毘沙門天は、慈雲寺から1km程離れた毘沙門堂に祀られています。かつて正月三日の酉の刻には、有り難い神示があると伝えられていました。駐車場がないのでご注意ください！

圓福寺 (金光恵比寿)

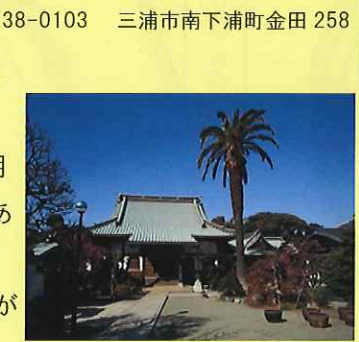


本瑞寺

三浦一族の菩提寺であり、源頼朝が三崎に建てた三御所の一つ「桜の御所」跡です。頼家・実朝ら歴代の将軍にも愛された場所であると言われていています。参道の長い階段を登り終えた後には、城ヶ島が一望できます♪

門をくぐってすぐの大きな木の幹には落雷！？の跡が…！！

三浦七福神の一つ。とある昔、一人の旅僧から地蔵尊を恵比須尊と合わせて祀るように告げられた村人たちは、以降草庵を現在の地に移して金田山圓福寺としました。バス停からの道順はマップ面にて！



住所：〒238-0243 三浦市三崎 1-19-1

三浦一族とは

三浦市の歴史を語る上で欠かせないのが、三浦一族の存在です。1180年、三浦半島を支配していた三浦義明は、伊豆で拳兵した源頼朝に一族を率いて加勢します。衣笠合戦で源頼朝追討軍に三浦義明は討たれますが、息子の義澄らは一度は安房国に逃げたものの、千葉にて頼朝と再会し、頼朝の勢力拡大と幕府確立に力を尽くします。しかし、後に北条氏との苛烈な権力争いが起こり、三浦一族は北条氏に滅ぼされます。このあと、三浦一族は三浦盛時により再興され、後に戦国大名となる相模三浦氏として繁栄していきます。



道寸祭り

道寸祭りは、三浦一族の鎮魂祭として毎年5月下旬に荒井浜海岸で行われます。なかでも、射手たちが騎馬武者姿に扮して行う「笠懸(かさかけ)」は、流鏝馬(やぶさめ)などと比較しても極めて実践的で難しい弓馬術であり、三浦市ではこの笠懸を全国で唯一砂浜で再現しています。



*目の前で見た笠懸には本当に圧倒されましたw(*o*)w (写真上)
*諸役としてお祭りのお手伝いをするのも♪(写真下)

三浦七福神めぐりについて



三浦七福神は三浦市内に点在する五つの寺院と二つの神社によって構成されています。毎年お正月の1ヶ月間、三浦七福神は良き一年を祈願し、ご尊像をお祀りしている御厨子の扉を御開帳しています。

新しい年の始めに、初詣を三浦で七福神めぐりはいかがですか？
～七福神一覧～

- 圓福寺 (金光恵比寿)
- 慈雲寺 (白浜毘沙門天)
- 海南神社 (釜籠弁財天)
- 見桃寺 (桃林布袋尊)
- 白髭神社 (長安寿老人)
- 妙音寺 (鶴園福祿寿)
- 延壽寺 (壽福大黒天)

